

2005年 2月16日

お客様各位

キャノンITソリューションズ株式会社

## DEX-II バージョン 4.20 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「DEX-II」(Ver. 4. 12-01 → Ver. 4. 20-01)に  
おいて、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

### [強化項目]

以下の機能を追加しました。

#### [システム全般]

- ◎ DEX-II オンラインTERMINATEコマンドをNETVIEW等による自動コマンド発行に対応するために、全使用回線CLOSE完了メッセージを追加しました。なお、本メッセージはXACTIV2マクロにOPT=COMPLETEパラメータを指定することにより動作します。(IBM版のみ)
- ◎ DEX-II データファイルの動的割振りにおいて、DSNの重複エラー(CODE=4704)が発生した場合、最大3回まで再割振り処理を実施するようにしました。

#### [ユーザーズ・ガイド関連]

- ◎ RESERVEマクロを使用する際の注意事項を追記しました。(IBM版のみ)
- ◎ HPROT=第4パラメータの説明に注意事項を追記しました。
- ◎ DISPADDコマンドの説明に制約事項を追記しました。

### [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

#### [システム全般]

- ・ オンラインタスク間の処理キューの制御(ENQ/DEQ)のRNAMEに利用しているJS CBID情報がNULLになっている。(IBM版のみ)

#### [オンラインコマンド関連]

- ・ DISPATCH STARTコマンド入力時、サブパラメータの指定により、出力されるメッセージが異なる。
- ・ TCP/IP for MVS V3R2環境の全銀TCP、全銀UST手順において、OPENコマンドを入力するとソケットエラーになる。
- ・ 全銀TCP手順において、BUFF=32Kを指定すると、CNTLコマンドで伝送テキスト長を変更するとエラーになる。

- ・ S N A P T C P D Dステートメントのみ指定のオンライン処理で、S N A P A L Lコマンドを入力した場合に表示されるエラーメッセージの内容が不適切である。
- ・ C O M M E N T =パラメータに、X' 5 B' を含む文字（例えば「大」）を指定しているマクロに対して、C N T Lコマンドで照会処理を実施すると文字化けおよびD 2 3で異常終了することがある。

#### [全銀T C P手順関連]

- ・ サーバ動作による通信処理ができなくなる場合がある。（I B M版のみ）

#### [J C A手順関連]

- ・ 代替回線指定時、S T A R Tコマンドを複数同時入力すると、以降、代替回線によるファイル転送ができなくなる。
- ・ N O D A T A受信によるリトライ処理が途中で終了する場合がある。

#### [3 2 7 0手順関連]

- ・ バッファ分割されたデータが1レコードに入るC R L Fなしの固定長ファイルを受信すると文字化けする。

#### [運用管理システム関連]

- ・ 通常レコードと障害レコードの間に異なる属性の障害レコードが存在する場合、指定された該当ステーションID、データIDの障害レコード情報が出力されない。

#### [ユーザズ・ガイド関連]

- ・ O C C U R S = F R E E 指定時、条件、処理パラメータ複数指定できない説明が不足している。
- ・ S C R A T C H処理のS T A T U S = E N Dパラメータの説明内容に不備がある。
- ・ Q C N T LコマンドのサブパラメータA L Lの省略時解釈値に不備がある。

以 上